

事務事業名		藤本四八写真文化賞事業			会計	一般会計				
課等名		美術博物館			事業種別	政策	開始	11	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
		施策	29	ふるさと意識の醸成						
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の住民数 2 全国の写真家、写真愛好家			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 日本を代表する写真家である藤本四八氏を顕彰し、市民周知を図る。 2 写真芸術を通じて、飯田市を内外にPRするとともに、				圏域住民数(人)			168370	
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活を送っている人の割合(%)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	飯田での展覧会(隔年開催)の観覧者数(人)			630	1656				
	成果指標	公募(隔年開催)の部応募点数(点)					60			
	定性目標									
事業概要	1 飯田市出身の写真家・藤本四八氏の業績を称えとともに、飯田市さらに日本の写真文化芸術の向上発展に寄与する事業として、平成9年市制60周年記念事業として始まる。									
	2 賞は2年に1回のサイクルで実施し、第1年目には募集と審査を、第2年度には賞の発表と授賞式、受賞写真の展覧会(飯田・東京)を行う。									
	3 第8回の賞は「藤本四八写真文化賞」(推薦の部)、「藤本四八写真賞」(公募の部)、「市民奨励賞」からなる。									
	4 第8回から、授賞式を東京でなく飯田で開催。受賞作品展も飯田を初会場とし、ついで東京で開催する。									
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1 第8回藤本四八写真文化賞の授賞式(24年5月12日) 〈推薦の部〉藤本四八写真文化賞1名 〈公募の部〉藤本四八写真賞1名・市民奨励賞1名				1 授賞者数			1 3人		
	2 第8回結果の広報				2 マスコミ露出回数			2 10回		
	3 受賞作品の展覧会 (1)飯田会場展(5/12~6/10) (2)東京会場展(7/5~7/11)				3 展覧会会場数			3 2会場		
	4 授賞式(5/12)				4 飯田会場の観覧者数			4 1656人		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		1,007	2,675	2,219	1,080	[25特定財源](そ)諸収入				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		102	100		194					
一般財源		905	2,575	2,219	886					
人件費計(千円)②		0		1,144						
正規職員所要時間				320						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		1,007	2,675	3,363	1,080					
事業内容・目標達成状況の振り返り	第8回目を事業の改革を進めながら実施できた。									
改革改善の考え方	①問題点	市民の関心が高まらず、応募数が伸びない。第8回から授賞式を飯田で開催したことにより、写真業界へのアピール度が低くなった。その一方で、市民の写真熱は高まっており、本賞による市民支援の必要性は薄れている。								
	②改革提案	事業の継続の是非も含めて、根本的な見直しを行う必要がある。 美博としては子どもの地育力向上に力を注いでいくことが大事である。								